

- 【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援
- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
 - ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
 - ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

2012年が始まって、もう1ヶ月が経とうとしています。時の過ぎるのは早いものです。釜石支援センターでも、お正月の特別プログラムが終わり、いつもののんびりとした時間が流れています。北海道教区からは、大町司祭が派遣、また、教区婦人会の皆さんが釜石を訪問されるなど、2012年の新たな動きが少しずつ始まっているようです。支援室でも、ツアーや、ボランティアのしおりの発行など、これからも活動してまいります。釜石にも引き続き多くの方のお力をお寄せいただけますよう、お願いいたします。

【教区婦人会・先遣隊の派遣】

北海道教区より、婦人会も支援活動のために、吉井頼子婦人会長と共に、吉井圭子姉、溝尾澄子姉、雨宮寿子姉が釜石支援センターに滞在されています。1月25日～28日の日程で、現地での働き、また、婦人会の働きをおぼえてお祈りください。

【釜石での働き】

支援室ブログ（海老原祐治さん・向井清子さん発信）より抜粋

1月20日

今日は仮設でのサロンの日。午前はいつものように大畑東、午後いつもの甲子Bのすぐ隣にある甲子Cへ。Bがブッキングの関係で使えず、今日はお隣の仮設で足湯&お茶っこサロンの開催。はじめてのサロン開催の場所です。大畑東はいつものメンバーで、和気藹々。かなり自立度が高まっている気配です。少し我々の関わり方も変えていくタイミングかもしれません。仮設住民の方々ご自身のやりたいことを、我々がサポートする方向でプログラム変更を検討していきたいと考えています。海宝さんが十月の大畑東での初回のサロンに参加していました。海宝さんもその変わりぶりを実感して関心していました。思えば冷え切った仮設でしたが、だいぶ暖まりました。いい感じにエンパワーメントできたと思ってます。（自画自賛）対症的なのが甲子Cです。はじめの頃の大畑東のような感じで、まだコミュニティーができてない様子。少し関わりを増やしていく必要があります。

さて昨日は夜に野田第2仮設に行ってきました。自治会役員と会合を持ったのですが、すごくモチベーションが高く、志も高い自治会でした。ここでも我々は活動を展開することになります。こちらでは足湯ではない関わりかたをすることで私と向井の意見が一致しています。面白い実験的な試みができるかもしれません。楽しみ。

【毛糸提供のお願い】

釜石支援センターより、緊急のお願いです。釜石市内の仮設住宅では、徐々に自治会が機能し始め、仮設団地内でのサークル活動なども始まるようとしています。支援センターでも、手芸等のサークルを立ち上げるための支援を行っています。釜石では、手芸店が被災してしまい、毛糸が手に入りにくい状態です。不ぞろいでも、あまったものでもかまいませんので、送っていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

【震災支援室より】

- ◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。
- ◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】

電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nssk311@yahoo.co.jp